

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第13回>

皆さん、いつもありがとうございます。

ユッキーこと、コーチング研修会社ドリームフィールドの阿部侑生ですヽ(・▽・)ノ

めっきり肌寒くなりましたが、風邪など召されていませんか？

実は私、先週に風邪をひいてしまいました。ですが、「デトックスできました！」と思うと、ラッキーに思えるから不思議です(笑)これからの季節、予防第一を心がけていきましょうね～。

ということで、今回は「自律型人間」と「依存型人間」についてお話をしました。

目標に向かって自分で考えて、自ら進んで行動する人を「自律型人間」と言い、反対に、その人の意志に関係なく、ただ言われたことだけをやる人を「依存型人間」と言います、という話をしました。「依存型人間」を作るのはとても簡単で、その作り方を紹介したところで終わりましたが、今回は逆にどうしたら「自律型人間」が育つのかについてお話をしていきます。

すごい会社があります。何がすごいかというと、その会社に入ると、いわゆる「ゆとり世代」「ほめられ世代」といった、依存型タイプに見えるイマドキの若者達が、自律型人間に成長していくのです。

そして皆さん、会社が大好きで辞めないのが、事業を拡大するしかなく、現在は300名の従業員さんが働いています。ちなみに、20年ほど前に創業された時は社員4名の小さな会社だったと記憶しています。

私はその会社の人材育成担当の方へのコーチングセッションを担当させていただいています。

そして会話の中から、自立型人間に育てるにはどんなことが必要かを日々教えて頂いています。

(どっちがコーチでどっちがクライアント(セッションを受ける人)なのかわからない感じです)

その中から特に「これは重要」と思うことをお話致しましょう。

キーワードはズバリ、「尊敬」です。

皆さんは尊敬できるリーダーやトップの下で仕事をしたことはありますか？

生徒のみなさんなら、そのような人がまわりにおりますでしょうか。

「この人のような大人になりたい！」「〇〇さんのようなリーダーになりたい！」という、

なりたい自分のお手本のような憧れの存在を目の前にすると学校生活や仕事を頑張りたくなりませんか？

つまり人は、尊敬できる存在が目の前に現れると「私もこうになりたい！」と自然に前向きになり、

頑張りたくなるのです。そして尊敬される立場の人は、たとえ現実は大変でもそれを出さずに、

楽しそうにイキイキと真剣に頑張っている姿を相手に見せることが大事です。

スポーツ選手はまさにそうですね。最近ではラグビー日本代表の選手のみなさんのご活躍が

私たちの胸を打ちました。大舞台上で活躍する姿はヒーローですが、裏では血がにじむような大変な努力をたくさんしています。

さて、先ほどのその会社ですが、まさに「憧れの上司」「憧れの大人」だらけなのです。  
リーダーは誰よりも一番最初に出社して、早々に仕事の準備に取りかかります。休憩は一番最後です。  
いつも笑顔をたやさず、声かけや挨拶は自分から率先しています。人前で不平不満は言いません。  
部下を叱ることはありますが、叱ったあとのフォローを忘れずとても温かい声かけをしています。  
出来る子もそうでない子もひっくるめて、部下のことをとことん愛しているのです。  
こんな素晴らしい大人と一緒に仕事ができたらどうですか？

人を育てる人は、なにがあっても子どもたち(部下)を全力で信じ、愛し続ける覚悟を持つこと。  
そして、人のせいせず、自分自身が夢に向かっていく姿を見せる。  
つまり、自分自身が自立型人間であること。子どもたちのお手本になること。  
そして、尊敬される存在を目指し日々実践すること。  
こういうことが人を育てる時に大事なのではないかと感じています。  
人を育てるって自分も成長できる素晴らしいチャンスなのですね。(・v・)ノ

### ★今日のポイント★

人生を楽しく真剣に生きている大人の姿は子どもに夢を与える

#### \*プロフィール\*

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH!バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、  
その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等を  
テーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。